

## ◎ 算数・数学部門

### 1 行事及び内容

#### (1) 研究委員会

- ア 第1回 6月10日(月) ①本年度の研究の進め方 ②年間事業計画
- イ 第2回 2月25日(火) ①今後の研究の進め方 ②年間事業反省

#### (2) 研究の実際

##### ア 全体研究

###### (ア) 研究テーマ

「算数・数学科における9ヶ年を見通した数学的な考え方の育成」  
～算数科、数学科の接続を意識した授業の構築～

###### (イ) 研究の内容

###### [数学科関係]

###### ○運営委員会

- ・研究の組織について協議
- ・研究の内容について協議
- ・活動計画について協議

###### ○実行委員会

- ・平成26年度天草郡市算数・数学教育研究会について協議

###### ○総会

- ・郡市中学校数学研究会の運営及び予算に関する事項の協議
- ・県中学校数学研究会報道
- ・県中学校教育課程研究協議会復講

###### [算数科関係]

###### ○研究会例会

- ・月に2～3回研究会を実施

###### ○算数授業研究会

- ・倉岳小学校で2年図形領域、6年統計領域の研究授業を実施

### 2 本年度の成果と課題

算数・数学部会では、一昨年度開催した熊本県小学校算数・中学校数学教育研究会(天草)大会の研究を基盤とし、多くの先生方の協力のもと、小学校、中学校それぞれ研究を進め、以下のことを実施した。

#### (1) 算数・数学における中一ギャップの解消に向けてのアンケート調査

小学校の6年生、中学校の1年生に向けてのアンケート調査を実施し、学習の内容や関心意欲に関する調査を行った。これをもとに、小学校、中学校での授業の改善に役立てた。

#### (2) 数学的な考え方の育成に向けて、小学校から中学校に向けての9ヶ年間を見通したところで数学的な見方考え方の系統とその学年で身につけたいことを明確にし、それを踏まえた研究授業を実施した。

昨年度までは算数力、数学力(造語)という視点で研究をしてきたが、今日言われている算数的活動、数学的活動、言語活動は、すべて数学的な考え方の育成に帰着するという考え方で研究を行った。

次年度は算数・数学部門の研究発表となるので、さらに研究内容の深化を図り、小中の連携を強化して天草の児童生徒に寄与できる研究としていきたい。